

## (東京都公立学校教職員組合墨田支部)

連絡先メールアドレス：ar5t-kym@asahi-net.or.jp ホームページ：<http://www.asahi-net.or.jp/~ar5t-kym>

東京教組ホームページ：<https://tokyokyouso.org> Twitter でも時々発信しています。多忙のため不定期です(^人^)

## 新年のごあいさつ

「新年明けましておめでとうございます」と言いたいところですが、今年の年賀状には明けましておめでとうございますと書けませんでした。ウクライナでの戦争が続き、多くの人が殺され、平和な日常生活が破壊されています。国際社会は、この戦争を止めることができていません。日本には、ウクライナとロシアとの仲介役を担ってほしいと思っていますが、そうはなっていません。それどころか、岸田内閣は、「安保3文書」改定を閣議決定のみで行い、軍事費を2倍にすると言っています。「敵基地攻撃能力」を保有すると言っています。歴代政権がまがりなりにも貫いてきた「専守防衛」の方針を国民に何の説明もなく変えることがあっていいのでしょうか？近隣諸国の危機を煽るのではなく、平和を築くための外交努力こそすべきではないのでしょうか？軍備増強は軍事的緊張を高めるだけです。

墨田区を含めた下町一帯は、東京大空襲において甚大なる被害を受けた地域です。東京大空襲では、一夜にして約10万人もの尊い命が奪われました。社会科見学で訪れる横網町公園の東京都慰霊堂には、東京大空襲で亡くなられた方々の10万5千人の遺骨が安置されています。区内のあちこちの公園は、東京大空襲で犠牲になった方々の遺体の仮埋葬地となりました。錦糸公園には約1万体の遺体が仮埋葬されました。多くの方が訪れている東京スカイツリー。そのそばを流れる北十間川は遺体で埋め尽くされていたと東京大空襲当時中学生だった星野弘さん(故人)は証言されていました。吉野山隆英さんは北十間川の当時の惨状を絵画に描いています。

物価高が続き、多くの人が苦しい生活を強いられています。教育現場における「働き方改革」はすすんでいません。軍事費を倍増し、「敵基地攻撃能力」を保有することが何をもたらすか。ウクライナでの戦争が示しています。戦争が始まったら簡単には戦争をやめることができません。戦争とは何かは、今ウクライナで起きていることや東京大空襲で何があったかを知れば、感じるすることができます。軍事に使うお金があったら、教育に、福祉に、社会保障にもっとお金を使うべきではないでしょうか？

みなさんは、冬休みは少しはゆっくりできたでしょうか？のんびりできた！という方もいるでしょうし、育児や介護、大掃除、帰省などいろいろなことをしていたら、あっという間に冬休みが終わってしまったという方もきっと多いことでしょう。今年度もあと数ヶ月。やらなければならないことがたくさんありますが、一人ができることには限界があります。現実と理想が違いすぎたりうまくいかないことが続いたりして、落ち込むこともあります。そんな時には、一人で悩まず、職場の仲間や学校外の仲間と話をすることで心が軽くなるかもしれません。教職員が働きやすい職場になるように、仲間とつながり、今年度もできることをやっていきましょう！

何か困ったことがありましたら、組合にご連絡ください。スピーキングテストの問題や部活動の問題、労働環境の問題なども情報をお寄せください。墨田区教組は区教委と、東京教組は都教委と必要に応じて交渉を行うことができます。

## 《青年部アンケートへのご協力もありがとうございました！》

青年部で毎年実施しているアンケートに今年は243名のみなさんが回答を寄せてくださいました。墨田区でも19名の方が回答を寄せてくださいました。ありがとうございます。お名前とご所属が分かる方には、後日アンケートの集計結果をお送りします。アンケート集計結果とみなさんから寄せられたご意見の一部をご紹介します。※( )内は昨年度の数値です。

●「働きがいをもって働いていますか？」に対し、「そう思う」が71%(77%)。「退職するまで続けようと思いますか。」という質問には、「そう思う」が29%(47%)、「どちらでもない」が47%(38%)、「思わない」が27%(15%)という結果でした。

→働きがいを感じている方が多いですが、退職まで続けようと思っている方になると、昨年と比較して大きく減って

います。

- ・長時間労働さえ解消できれば、教員という仕事は魅力あふれる、やりがいのある仕事だと思います。ただ、この仕事を続けるということは、家事育児に大きな犠牲を払い、人生の全てを学校に捧げなければならないように感じます。
- ・会社員の友人と働き方が大きく異なったり、日々の忙しさに追われて今後も変わらないのであれば、自分たちが職業選択を考えなければと感じる。
- ・現在は、とにかく睡眠時間が不足している。将来、家事育児と両立できる自信が全くもてない。
- 平均在校時間は12時間1分。昨年より26分増、一昨年より22分増でした。
- 新型コロナウイルス感染防止対策で削減・縮小された学校活動がもとに戻ってきたことにより、3年前の状況に戻ってしまったと考えられます。長時間労働の実態は、深刻な状況が続いています。以下自由記述欄のコメントです。
- ・休日は出勤こそしないが、授業準備や資料作成をしないと仕事が追いつかない。分掌や行事担当の仕事は、到底一人でやるべき量ではない。そもそも授業時数が多すぎて、他の仕事は勤務時間外にやるしかない。
- ・近年はタブレットの導入、コロナ関係、教員の働き方改革などの新たな試みが導入されていると感じます。様々なことが便利になっていることと並行し、やらなければならないことが増えていると思います。1つの仕事にかかる時間は減りつつも、仕事の多様化によって種類が増えたため、結果的に変化していないように考えます。
- ・管理職の意見を聞きながら部会などで話し合って決定したことを、校長の思いつきで直前に変更させられることが多い。その度に再度話し合いの場を設けたり準備のやり直しがあったりで、業務量が増えていく。
- ・人間関係に疲れてしまいました。雑務(だと感じる)が多く、指導に十分な準備を確保するのが難しいです。
- ・水泳を外部委託してほしい。
- ・部活動を一人で受け持っているため、休日の引率や平日の部活動の時間など、あまりにも多くの時間が取られている。その結果授業準備や事務作業がすすまず、残業を余儀なくされている。
- ・平日の部活動は、勤務時間外になることが多いので、働き方改革という視点で改善した方がよいと思う。そして学校の規模に合った部活動の設置数やあり方を再考すべきと考える。
- ・同僚の先生のことでは困ることはほとんどありません。とても丁寧に教えていただいています。それでも、仕事量が多かったり、トラブル対応で、日々の業務をこなしていくのは大変だなと思っています。
- ・自分の教育活動に見合った研修内容ではないと感じる。明日から生かせる研修を受けられるとよい。
- ・会計業務を業務委託してほしい。

東京都公立学校教職員組合（東京教組）は、東京都の公立学校（幼稚園・小学校・中学校）で働く教職員の組合です。教職員の生活や権利を守るとともに、子どもたちが生き生きと育つ環境づくりと教育研究をすすめています。加入申込は、「東京教組ホームページ」→「加入申込」からできます。

### 《狭山事件の再審を求めるネット署名にご協力を！》

狭山事件は、部落差別に基づく冤罪事件です。事件のことを知れば、高校生でも冤罪事件だとわかんと思います。狭山事件の第三次再審は弁護団が事実調べ請求書を提出したことによって、最大の正念場を迎えています。東京高裁が事実調べの実施を決断するかどうかは、ひとえに広範な世論の広がりにかかっています。ぜひご協力ください！

[ネット署名はこちらから→](#)



### ～第47次日朝教育交流の集い～

組合員でなくても参加OK。参加希望者は、東京教組まで [ttu@tokyokyouso.org](mailto:ttu@tokyokyouso.org)  
とき 2月11日(土) 9時40分～15時30分(受付開始9時30分) 予定  
ところ 東京朝鮮第三初級学校 板橋区大山西町67-1

授業参観や芸術公演などプログラムは盛りだくさんです。「民族教育の現状と課題」についての講演もあります！墨田区にも八広に朝鮮学校があります(^\_^)